

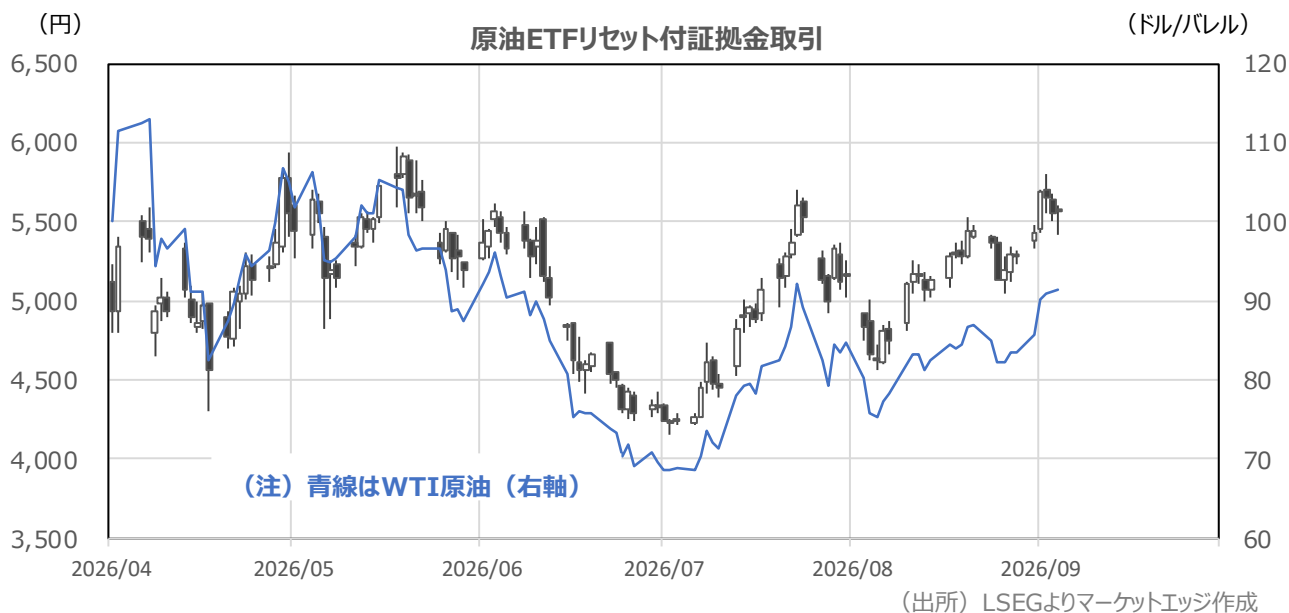
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/09/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



90ドル台前半まで反発、米国とイランの軍事衝突

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台前半まで値上がりし、7月23日以来の高値を更新した。中東情勢が改めて不安定化したことを受けて、供給リスクのプレミアムが加算された。米中央軍は8月31日、ホルムズ海峡のラク島にあるイランのロケット発射台を攻撃した。イランによる機雷敷設の動きを阻止したと説明されている。一方、イランはヨルダンとUAEの米軍基地に対して報復攻撃を行った。軍事衝突の発生は数週間ぶりのことであり、原油供給不安の高まりが原油高に直結した。ただし、トランプ米大統領がイランに対する攻撃は「それほど長くは続かない」との見通すと、上げ一服となった。

ホルムズ海峡を巡っては、サウジアラビアやUAE、イラクなどが原油のシャトル輸送を行い、ホルムズ海峡の外側で大型タンカーに積み替えてアジアや欧州向けに出荷していることが、供給不安の高まりを抑制している。しかし、軍事衝突が本格化するとこうしたシャトル輸送も困難になるため、原油相場は敏感に反応した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月28日時点）は、原油が前週比445万バレル減、ガソリンが117万バレル減、石油精製品が80万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

中東情勢次第の展開が続く、戦闘停止だと戻り売られる

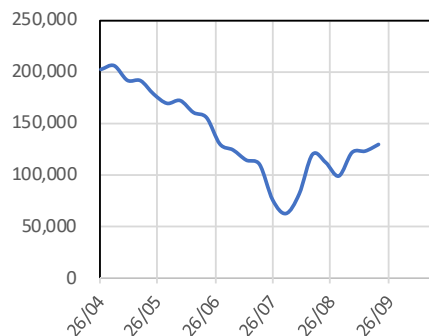
中東情勢に強く依存する不安定な地合が続く。前週は米国とイランの軍事衝突が原油相場を押し上げたが、両国の攻撃の応酬が止まると、原油相場も上昇圧力が和らぎやすくなる。トランプ米大統領の「（攻撃は）それほど長くは続かない」との発言を信頼できるのかは疑問もあるが、前週後半は新たな攻撃の応酬は報告されておらず、このまま両国の軍事的な膠着状態が続くと、原油相場は上げ一服後の調整売り優勢の地合に転じる可能性が高い。7月高値93.50ドルを上抜けできなければ、80ドル台中盤から後半まで反落する可能性が高まる。

ただし、米国とイランとの間では何らかの合意形成が進んでいるわけではなく、いつ新たな攻撃の応酬が始まってもし不思議ではない状況が続く。仮に新たな軍事衝突が発生し、7月高値93.50ドルを上抜けと、90ドル台中盤から後半を試す可能性もある。米国とイランがどのような動きを見せるのかは予見可能性が乏しいため、突発的な急伸・急落のリスクが高い状態が続こう。

今週は9月10日に石油輸出国機構（OPEC）、11日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が発表されるため、需要と供給の双方について、どのような見通しが示されるのかにも注目したい。また、前週は製油所稼働率の高さから、戦略石油備蓄（SPR）放出にもかかわらず、原油商業在庫の取り崩しがみられた。さらに原油在庫の減少が続くと、短期需給ひっ迫への警戒感から買いが膨らむ可能性がある。

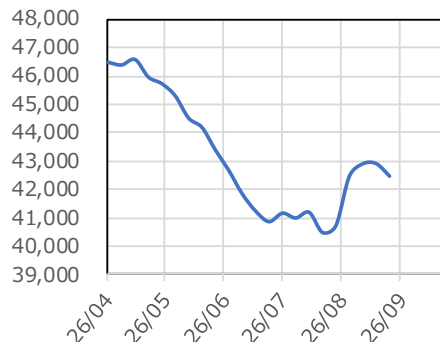
また、NYMEXヒーティングオイル相場が高騰している。ディーゼルや灯油などの中間留分の価格高騰が加速した際にも、原油相場がつれ高する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



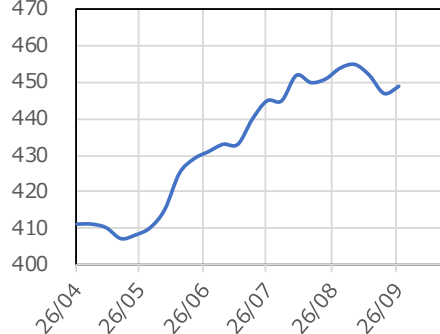
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

